

行動科学・実装科学セミナー

令和4年第 回実装科学セミナー

演者：筑波大学体育系 准教授

中田 由夫先生

演題： **エビデンスづくりの実際**
－体重管理と身体活動促進の事例－

日時 令和4年12月20日(火) 16:00～17:00

開催方法 Web会議システム (Zoomミーティング)

参加申込 <https://forms.office.com/r/PQHK9nEz3Q>

参加申込メ切 令和4年12月20日(火) 17:00
(セミナー終了まで)



講師プロフィール：

2004年、筑波大学大学院で博士(体育科学)の学位を取得。筑波大学体育系で3年間助手を務めた後、筑波大学医学医療系で11年間、助教、准教授として橋渡し研究に従事。2018年より現職。専門は運動疫学。趣味はゴルフ。

セミナー要旨：

これまでに、肥満者に対する減量介入研究や身体活動を促進する介入研究など、8つのランダム化比較試験を主導してきました。これらの経験をもとに、エビデンスづくりの実際をお伝えするとともに、有効な介入戦略を模索している現状をお伝えします。

主催：国立がん研究センターがん対策研究所 支持・サバイバーシップ研究グループ
N-EQUITY (健康格差是正のための実装科学ナショナルセンターコンソーシアム)

共催：RADISH (D&I科学研究会)、J-SUPPORT (日本がん支持療法研究グループ)
早稲田大学人間科学学術院

問い合わせ：国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部
実装科学研究室 島津・齋藤 impsci-sem@ml.res.ncc.go.jp